

報道関係各位

2008年1月30日

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター、View22社とともに 3Dインターネットメディアでのマーケティングサービス展開を開始

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター(東京都港区 センター長:勝野正博)は、View22社(本社:カナダ 社長:ポール・リバズスキー)が開発した3DインターネットメディアであるSceneCaster(シーンキャスター)を活用したマーケティングサービス提供を開始することになりましたのでお知らせいたします。

シーンキャスター(<http://www.scenecaster.com>)は、View22社が開発したウェブ上で簡単に3Dインターネットを利用できるコミュニティサイト。ユーザーがウェブ上でドラッグ・アンド・ドロップするだけで、自宅や自室を思い通りにデザインできることが特長で、ユーザーは個性を生かしたライフスタイルを実現することができます。SNSとの連携によって、ユーザーが自己表現できる環境を整えている他、Eコマースサイトで気に入った商品を購入できるなど、実生活と3Dインターネットライフとの融合にも特長があります。



SceneCaster の例
自室を好み通りに装飾できるのが特長

シーンキャスターは独自の広告掲載スペースを保有するほか、インタラクティブな展示空間・ショールームなどを構築するなどのマーケティング利用が可能です。また、商品開発などの分野で生活者インサイトを分析するマーケティングリサーチにも活用できます。

博報堂DYグループ・i-ビジネスセンターでは、シーンキャスター日本語版開発への協力を含め、日本における広告展開プラン実施の立案などについてView22社と協力し、日本市場におけるシーンキャスターを活用したマーケティングサービス提供を行います。

■View22社(シーンキャスター)について www.scenecaster.com

誰もが自分のアイデアを視覚化・共有し、体現化することのできる 3D ソーシャルメディア・アプリケーションとウェブコミュニティを提供。オンラインストア、主要ブランドや小売業者のカatalog、ソーシャルネットワークなどにおける 3D ウェブ体験を可能にすることにより、バーチャルな世界と現実世界の橋渡しをします。

■博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター について

博報堂DYグループの事業会社4社(博報堂DYメディアパートナーズ、博報堂、大広、読売広告社)が2006年2月に共同で設置した、デジタルメディア環境における次世代コミュニケーション開発をグループ横断で推進するためのプロジェクトです。

ご参考:博報堂DYグループ・i-ビジネスセンターの3Dインターネット領域での活動について

博報堂DYグループでは、3Dインターネットに関するマーケティングサービスおよび実験・研究を行うプロジェクトとして、2007年12月より「博報堂DYグループ・i-ビジネスセンター 3Dインターネットラボ(以下3Dインターネットラボ)」をスタートさせました。3Dインターネットラボでは、3Dインターネットコミュニケーションの実験・研究、コンサルテーションおよびソリューションサービスの提供、セミナー、講演等の開催および発表などの活動を行っています。

また、セカンドライフ上にSIM「WITH」(<http://slurl.com/secondlife/WITH/229/2/23>)を構築し、国内外の専門家、学識者、一般生活者と協働しながら、3Dインターネット上でのコミュニケーションについての研究を続けています。

- ・リーダー 勝野正博 (博報堂DYグループ i-ビジネスセンター長)
- ・人員 約20名
- ・活動概要 3Dインターネットの技術的研究
3Dインターネットコミュニケーションの実験・研究
ツールや手法の開発
コンサルテーションおよびソリューションサービスの提供
セミナー、講演等の開催および発表
企業またはコミュニティからのコンテンツコラボレーションの企画検討と実施
WITHの一般開放に関する問合せ

以上

■この件に関するお問い合わせ先

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ	広報グループ	加藤	03-6218-9175
株式会社博報堂	広報室	西尾・宮川	03-5446-6161
株式会社大広	総務人事局広報部	遠藤・長谷川	03-3437-8601
株式会社読売広告社	総務局コーポレート部	林	03-3566-6966